



# 第一回豫想に比して

## 更に六萬七千餘石減

昨年實收より二割五分三厘減の見込

### 十三年米第二回豫想收穫高

昨年十月末日現在に於ける縣下の十三年米第二回豫想收穫高は百六十六萬三千三百十石で、之を彙に發表された九月二十日現在に於ける第一回豫想收穫高に比すれば六萬七千三百四十石(三分九厘)を減じた。其の内譯は水稻四萬九千八百石(二分七厘)陸稻一萬七千五百四十石(四分五厘)である。之を前年實收高に比すれば水稻が七十一萬三千五百六十石(三割五分六厘)減、陸稻が十五萬六千九百九十石(六割七分九厘)の増

加を見たが、總收穫高では五十六萬二千八百七十石即ち二割五分三厘の減少である。之は本年の米作は第一回豫想後の天候が不順で、雨量が多く、濕潤に過ぎた爲に成熟が充分でなかつたのと、十月二十一日に暴風雨の被害があつたので、第一回豫想に比し減收を見るだらうと豫想されたのである。之を郡市別に示せば次の通りである。(△印は減、内譯と計とが一致しないのは四捨五入十位に止めたからである。)

郡市別	第二回豫想收穫高		第一回豫想收穫高		増減	水稻		陸稻	
	第二回	第一回	第二回	第一回		第二回	第一回	第二回	第一回
那珂郡	一七、三三〇	一七、三三〇	△ 九、八六〇	△ 八、〇六〇	△ 一、八〇〇	△ 四、九四〇	△ 四、九四〇	△ 四、九四〇	△ 四、九四〇
久慈郡	一〇、二二〇	一〇、二二〇	△ 四、〇〇〇	△ 九、九六〇	△ 五、九六〇	△ 一〇、一〇七	△ 一〇、一〇七	△ 九、九六〇	△ 九、九六〇
多賀郡	七、五五〇	七、五五〇	△ 一、七〇〇	△ 六、八五〇	△ 五、一五〇	△ 七、八八〇	△ 七、八八〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇
鹿島郡	二八、七六〇	二八、七六〇	△ 二、八〇〇	△ 九、九七〇	△ 七、一七〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇
行方郡	三三、三三〇	三三、三三〇	△ 三、六〇〇	△ 八、五〇〇	△ 四、九〇〇	△ 三、九六〇	△ 三、九六〇	△ 三、九六〇	△ 三、九六〇
新治郡	一八、五五〇	一八、五五〇	△ 一、四〇〇	△ 二、一八〇	△ 七、七八〇	△ 二、三三〇	△ 二、三三〇	△ 二、三三〇	△ 二、三三〇
筑波郡	一四、三三〇	一四、三三〇	△ 三、六〇〇	△ 一〇、七三〇	△ 七、一三〇	△ 二、五八〇	△ 二、五八〇	△ 二、五八〇	△ 二、五八〇
眞壁郡	一五、一〇〇	一五、一〇〇	△ 一、六〇〇	△ 一、九七〇	△ 三、三七〇	△ 二、六八〇	△ 二、六八〇	△ 二、六八〇	△ 二、六八〇
結城郡	一〇、三三〇	一〇、三三〇	△ 一、九〇〇	△ 七、四三〇	△ 五、五三〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇	△ 七、〇〇〇
猿島郡	九、〇〇〇	九、〇〇〇	△ 一、六〇〇	△ 七、四〇〇	△ 五、八〇〇	△ 四、九六〇	△ 四、九六〇	△ 四、九六〇	△ 四、九六〇
北相馬郡	三、〇〇〇	三、〇〇〇	△ 一、七〇〇	△ 五、三〇〇	△ 三、六〇〇	△ 三、〇〇〇	△ 三、〇〇〇	△ 三、〇〇〇	△ 三、〇〇〇
合計	一、六三三、三三〇	一、六三三、三三〇	△ 一、〇三三、三三〇	△ 一、三〇〇、五〇〇	△ 二、六三三、三三〇	△ 一、〇三三、三三〇	△ 一、〇三三、三三〇	△ 一、〇三三、三三〇	△ 一、〇三三、三三〇

# 全國的には

## 三分四厘減收

### 農林省發表表

於ける十月末日現在昭和十三年米第二回豫想收穫高は六千四百八十八萬九千九百九十石で、前年收穫高に比すれば二百二十三萬六千七百七十四石を減少し、前五ヶ年平均實收高に比すれば百三十三萬九千四百二十二石(二分一厘)を増加した、各府縣別は左の如くである。

昨年十一月十四日農林省大臣官房統計課發表せられた全國に

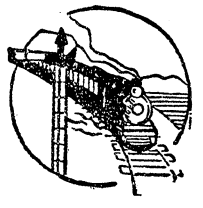


四國區	德島	香川	愛媛	高知	九州區	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒	沖繩	備考
	五三、八〇〇	九七、一七〇	九三、六〇〇	五〇、三〇〇		二四三、三〇〇	一四〇、六〇〇	六〇、七〇〇	一九三、四〇〇	一四三、三〇〇	一〇八、七〇〇	一、五三、九三〇	二一、〇〇〇	沖繩ノ今回ノ豫想收穫高ニハ第二期作ノ分ヲモ合ム
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	
	三三、八〇〇	三九、四〇〇	三〇、九〇〇	九九、〇〇〇		七六、九〇〇	七、五〇〇	六八、〇〇〇	二六、九二〇	六七、五〇〇	三五、五〇〇	一三、〇五〇	三、五九〇	
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	
	五七、七〇〇	一〇五、四〇〇	三三、三五〇	一九、八三〇		六三、三三〇	三三、三三〇	三三、八〇〇	五、四九〇	三三、七五〇	四、四〇〇	七四、三三〇	八、五五〇	
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	
	一一、六七〇	三三、四三〇	一八、八〇〇	六六、一四〇		七九、七〇〇	七〇、六三〇	五、四四五	八四、五五〇	六九、一五〇	一九、七五五	二四、六三三	一九	

**統計主任異動**  
 (上ハ新任括弧内ハ舊)

昭和三十二年十一月四日 久慈郡河内村  
 鈴木 芳之介 (森 留藏) 人口 全 十月二十四日 水戸市

吉井 益郎 (加倉井 仁) 十一月二日 那珂郡菅谷村  
 海野 庫造 (平野 耕) 十月三十一日 猿島郡境町  
 佐野 貞雄 (近藤 正一) 十一月一日 筑波郡小田村  
 十一月十四日 西茨城郡大原村  
 十一月二十九日 久慈郡宮川村  
 近津 義任 (菊池 秀介)



**各地統計雜信**

**鹿島郡支部統計事務研究会**

鹿島郡支部統計事務研究会は昨年十一月十二日鹿島町役場で開催した。縣統計課より統計主事補が出席、午前十時三十分出席者一同鹿島神宮神前に於て皇軍武運長久祈願祭を施行、酒井支部長より開會の挨拶に續て縣提出事項に就き部主事補より詳細説明の後質疑應答を行ひ閉會した尙出席者は左の通りである。

- 夏海村(今泉書記) 大谷村(豊田書記)
- 沼前村(眞家書記) 巴 村(重藤書記)
- 徳宿村(高崎書記) 諏訪村(酒井助役)
- 餘田町(竹内書記) 新宮村(井川調査員)

- 上島村(中根書記) 白鳥村(菅谷書記)
- 中野村(小澤書記) 波野村(大川書記)
- 豊郷村(錦織助役) 豊津村(野口書記)
- 鹿島町(武藤書記) 高松村(木瀧書記)
- 息栖村(大塚書記) 輕野村(保立助役)
- 若松村(菅野書記) 波崎町(石川書記)
- 矢田部村(長谷川書記)

**北相馬郡西部統計事務研究会**

昨年十一月二十四日北相馬郡菅生村役場で北相馬郡西部統計事務研究会を開催、縣より小倉屬が出席、午前十時半副會長岩田守谷町助役の開會の辭に引續き會長互選の件及び會則一部變更の件を議したる後小倉屬より會議要項

**久慈郡東部統計事務研究会**

久慈郡東部統計事務研究会は昨年十一月二十四日二十五日の兩日同郡坂本尋常高等小學校に於て開催、縣より高島屬が出席した。午前十時福田坂本村助役の開會の辭に續いて高島屬より一般統計事務に對する指示並に農林統計に關する注意あり、特に米生産統計に付ては詳細に亘り研究し質疑應答を重ね散會した、尙出席者左の如くである

- 福田助役、大内書記(坂本村) 片野書記(東小澤村) 高野書記(西小澤村)
- 書記(幸久村) 助川書記、安書記(郡戸村) 富永書記(久米村) 和田書記(山川村) 柳書記(譽田村) 渡邊書記(佐都村) 鈴木書記(河内村) 五來書記(久慈町) 小祝幹事(久慈郡町村長會)